

議会運営委員会 会議録（要旨）

○ 開催年月日 令和6年7月22日（月）

午前9時30分 開会

午前9時58分 閉会

○ 場 所 第3常任委員会室

○ 出席委員（10名）

委員長	宮城 克
委員	上里 広幸
委員	岸本 一徳
委員	宮城 優
委員	知念 秀明

副委員長	我如古 盛英
委員	石川 慶
委員	平安座 武志
委員	桃原 功
委員	山城 康弘

議長	呉屋 等
----	------

○ 欠席委員（0名）

○ 委員外議員（0名）

○ 説明員（2名）

福祉担当 次長	香月 直子
------------	-------

低所得世帯 支援担当主査	外間 和佳子
-----------------	--------

○ 議会事務局職員出席者（4名）

局長	仲村 厚子
議事担当 主幹	平田 駒子

次長	當山 全盛
議事係長	大城 拓也

○ 協議案件

1. 第460回宜野湾市議会臨時会の運営について

①委員会付託について

②会期の決定について

2. その他

議会運営委員会（要旨）

令和6年7月22日（月）

○宮城克 委員長 ただいまから議会運営委員会を開会いたします。

（開会時刻 午前9時30分）

【協議事項】

第460回宜野湾市議会臨時会の運営について

○宮城克委員長 本臨時会に上程される案件は、補正予算1件となっており、初めに、委員会付託について議題とする。その前に、臨時会における委員会付託についてあらかじめ、2点確認したい。

まず1点目、去る5月27日の議会運営委員会で協議した結果、全会派が、「委員会付託したい」との意見で全会一致した場合に、委員会付託となるので了承願いたい。

次に2点目、本日の議運開催となった経緯についてであるが、臨時会の議会運営委員会は、委員会付託の可能性もあるため「前もって開催して欲しい」とのことであったが、今回は、急な案件であり、各会派の政務調査も入っていたことから、結果的に臨時会前日に開催となったことを報告する。ご理解願いたい。

それでは、今回の臨時会の案件1件は、委員会付託省略でよいかを協議するため、議案の提出部署より、急な臨時会での提案となった理由や、議案の概要について、説明願いたいと思うが、入室させてよろしいか。

（「異議なし」という者あり）

○宮城克委員長 御異議ないようなので、そのように進めてまいりたい。

（執行部入室）

○宮城克委員長 当局より、臨時会での提案理由や、議案の概要について、説明をお願いしたい。

（執行部による議案説明）

○宮城克委員長 ただいまの説明に対し、質疑があれば挙手願いたい。桃原功委員。

○桃原功委員 今回の2本の給付金事業について、当初見積もりよりも実際の支給対象人数が増えたということと認識するが、給付金事業は今回が初めてではないはずであるが、その点はどうか。

○福祉担当次長 これまでも何回か実施している。

○**桃原功委員** 何回か実施しているにもかかわらず、今回の増は当初見積もりが甘かったということか。

○**福祉担当次長** 定額減税補足給付金事業については、当初5月臨時会の際には、令和6年度の課税状況が判明する前に計上したものであり、その時点で対象者が増となるかもしれないことを見込んでいれば今回の補正増はなかったかもしれないことを考えると見込みが甘かったと考える。

○**桃原功委員** 他市町村の補正等の状況を伺いたい。

○**福祉担当次長** いま把握している状況では、南城市が7月臨時会での補正を検討しているとのことであり、嘉手納町も予算が不足し対応を協議しているとのことである。また、那覇市は6月定例会において補正を行ったと伺っている。

○**桃原功委員** 臨時会ではなく定例会で対応できた自治体もあったということか。

○**福祉担当次長** はい。

○**桃原功委員** 本市のように臨時会で対応するところもあれば、6月定例会で対応できたところもあるとのことなので、その辺はしっかり見積を立ててもらいたかったと思う。

○**我如古盛英委員** 予算書を見ると、振込手数料以外の経費はかからないのか伺いたい。

○**福祉担当次長** 今回は対象者数が増えており、今回は給付金の額とそれの振込手数料の補正となっており、その他の事務に関しては、旧ろうきんに窓口等委託しており、人数等増やさなくとも対応可能ということである。

○**平安座武志委員** 対象者である非課税世帯が見込みより増となったことによる補正であるが、非課税世帯は他制度においても給付や減免等あるはずであり、関連する補正増が出てくるのかどうかを伺いたい。

○**福祉担当次長** 今回の給付金は課税対象外となっており、生活保護受給者も受給できるものとなっている。他制度の影響については不明である。

○**上里広幸委員** 定額減税については、5月の臨時会において、対象者の抽出方法が複雑ではないかと質疑したが、4月の段階では大丈夫ということだった。今後はますます複雑になるのではないかと思うがその点は大丈夫なのか。

○**福祉担当次長** 定額減税については、7月5日時点のデータを基に実施するが、令和6年度の税額が、年末調整や確定申告で修正がある方や子供が生まれる等で変更となることがあり、予算が不足することは想定される。その方々のために令和7年度に、不足額給付という新たな給付金で対応することになっており、今回不足したとしてもそちらで対応することになると思われる。

○上里広幸委員 不足した場合は国の交付金等で対応となるという理解でよいか。

○福祉担当次長 いまのところ詳細は不明であるが、過去には地方創生臨時交付金で対応していることもあり、そのような対応になるのではないかと考えている。

○岸本一徳委員 財源については、国の 10 割負担で市の負担はないものと認識しているか。また、令和 6 年度低所得世帯等支援給付金事業の説明資料のうち、振込手数料の中で新たな子ども加算分が 203 件マイナスとなっているが、当初見積もりが多かったということか。

○福祉担当次長 補正の財源についてはすべて国の負担となっている。次に、新たな子ども加算分の振込手数料のマイナスについては、令和 5 年度には非課税の給付金と均等割りの分の給付金と別々に給付を行っていたが、今回は非課税給付と子供加算分を一緒に給付することから、当初別々に振り込むことを想定していたが、まとめた振込となることから手数料を減としている。

○桃原功委員 低所得世帯等支援給付金事業について、当初見込み人数よりも大幅に増となっているが、その理由を伺いたい。

○福祉担当次長 当該事業は、前年度に実施された給付金事業と関連があり、令和 5 年度には課税世帯であった方が、令和 6 年度にかけて新たに非課税又は均等割非課税になった方々が対象となり、当局としては、課税世帯を主に対象ととらえて、課税世帯がどれだけ非課税又は均等割非課税に移行していくかということで予算を計上していた。しかし、今回対象者を確認したところ、課税世帯から非課税になられた方がおり、例としては課税世帯の扶養に入っていた方が扶養からはずれて非課税世帯になった方や、転入の事例もあった。こういう見込みが甘かったとも思っており、その点は申し訳ないと考えている。

○宮城克委員長 質疑も尽きたようであり、当局には退席いただきたい。

(当局退席)

○宮城克委員長 それでは、改めて「委員会付託について」お諮りしたい。従来どおり、委員会付託を省略して進めて行きたいと思うが、それに御異議ないか。

(「異議なし」という者あり)

○宮城克 委員長 御異議ないようなのでそのように進めてまいりたい。次に、「会期の決定について」を議題とする。会期は、明日 7 月 23 日の 1 日間としたいと思うが、それに御異議ないか。

(「異議なし」という者あり)

○宮城克 委員長 御異議ないようなのでそのように進めてまいりたい。

【協議結果】

第 460 回宜野湾市議会臨時会については、委員会付託を省略し、会期は 7 月 23 日の 1 日間とすることに決定した。

【協議事項】

その他

○宮城克 委員長 他に何かあるか。他になければ終了としたい。

○宮城克 委員長 本日の委員会を閉会いたします。 閉会時刻（午前 9 時 58 分）